

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		救急活動推進事業		担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	52221	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	救急救命士法					
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		救命率向上のため、救急救命士及び救急隊員に病院実習及び研修等を実施することで、資質能力の向上を図るものである。								
目的 ※何のために		質の高い救急医療サービスを市民へ提供するため。								
対象 ※誰・何を対象に		現任の救急救命士及び救急隊員。								
手段 ※どのように		病院実習、救急研修及び教育訓練を実施。								
成果 ※何を求めるか		救急救命士を含む救急隊員の資質向上を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業	区分		款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費		救急活動推進事業	3,165,148
本事業の 主な業務	・指導救命士養成研修							・埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会負担金の支出		
	・救急救命士再教育病院実習							・救急救命士ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習		
	・救急救命士気管挿管病院実習							・		
	・救急救命士薬剤投与病院実習							・		
	・救急救命士就業前病院実習							・		
	・特別管理産業廃棄物収集運搬及び処理委託							・		

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画		・自動式心マッサージ器	・気管挿管病院実習 ・薬剤投与病院実習 ・ビデオ喉頭鏡病院実習 ・派遣型救急ワークステーション	・気管挿管病院実習 ・薬剤投与病院実習 ・ビデオ喉頭鏡病院実習 ・派遣型救急ワークステーション	・気管挿管病院実習 ・薬剤投与病院実習 ・ビデオ喉頭鏡病院実習 ・派遣型救急ワークステーション			
事業費	予算（現額）	27,049,000	3,306,000	3,684,000	3,775,000			
	決算額	26,537,063	2,903,014	3,165,148	0			
	財源内訳	国支出金	24,134,000	0	0	0		
		県支出金	0	4,000	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	591,000	2,053,270	848,470	966,000		
		一般財源	1,812,063	845,744	2,316,678	2,809,000		
人件費	従事職員数（人）	1.25	1.20	1.20	1.30			
	人件費相当試算※	9,836,947	9,612,198	9,866,690	11,086,166			
総事業費試算		36,374,010	12,515,212	13,031,838	14,861,166			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	薬剤投与病院実習数	目標値	回	3.00	2.00	2.00	1.00		
		実績値		1.00	2.00	2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		薬剤投与の座学終了者数により目標値を設定/病院実習数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	気管挿管病院実習数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00		
		実績値		2.00	2.00	2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定 / 病院実習数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	薬剤投与認定救命士数	目標値	人	71.00	71.00	73.00	73.00		
		実績値		69.00	71.00	73.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定 / 資格取得者数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	気管挿管認定救命士数	目標値	人	25.00	27.00	28.00	30.00		
		実績値		25.00	27.00	28.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定 / 資格取得者数						
	実績値の算出式								
成果指標 3	救急医療情報システムアクセス用情報機器端末使用率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
		実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全ての救急活動に有効に使用できるよう目標値を設定 / 使用回数/救急出動件数						
	実績値の算出式								
成果指標 4	救急隊員1人あたりにかかる費用	目標値	千円						
		実績値		491.00	217.00	277.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		社会的背景も影響するため、目標値は設定できない。 / 総事業費/救急隊員						
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	救急救命士が現場活動で特定行為を行うには、病院での実習を修了する必要がある。 救急救命士が病院での実習を問題なく終了したことで、計画通り充実が図れた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各種救急処置の資格要件を満たした救急救命士が、救急現場において適切な救急救命処置を実施している。
			評価者 課長補佐兼救急管理係長 高野 武己

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	派遣型救急ワークステーションの出場件数は260件となり、前年230件から30件増加し、医師が救急出場することにより、活動終了時に医師からフィードバックが行われ医学的知識の向上が図られた。救急活動審査会では、係長が傷病者役となり、自隊の部下が実施している救急活動を知り、フィードバックをすることで自隊の救急活動の向上を図った。また、救急活動向上する意識を高めるため、おおむね入職5年目以下の職員に対して、救急活動訓練を実施し、症例や評価表については、消防士長が主体となって行った。
			評価者 補佐兼救急係長 高野 武己